

科目ナンバリング		P-PUB01 8N009 PJ90			
授業科目名 <英訳>	遺伝カウンセリング実習1 (GC限定) Genetic Counselling, Practice 1	担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 附属病院 医学研究科 医学研究科	特定講師 特定准教授 特定助教 特定助教	川崎 秀徳 小川 昌宣 鳥嶋 雅子 吉田 晶子
配当学年	専門職	単位数	2	開講年度・開講期	2024・通年不定
曜時限	その他	授業形態	実習 (対面授業科目)	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
【基本情報】 授業日時：随時 場所：京都大学医学部附属病院 遺伝子診療部・外来がん診療部・小児科、関西医科大学附属病院 女性診療科・臨床遺伝センター、高槻病院 下記学会・研修会会場など。オンラインでの実習も経験する。 レベル：応用 担当者：川崎秀徳 (科目責任者)、小川昌宣、山崎博司、山田重人、鳥嶋雅子、吉田晶子、村上裕美、本田明夏、源明理、春山瑳依子、佐藤智佳、四本由郁					
【コースの概要】 遺伝カウンセリングの現場に同席し、その現状を体験するとともに、予診の聴取 (プレカウンセリング)、家系図の作成、電話フォローアップなどを実際のクライアントに対して行う。					
【教育・学習方法】 実習 (準備・プレカウンセリング・同席実習・症例記録作成・カンファレンスでの症例報告・討議・電話フォローアップ)。関連学会・セミナーに出席、積極的に参加し、レポートをまとめる。 1月～3月は、「遺伝カウンセラー業務実習」として遺伝カウンセリング電話予約対応などの認定遺伝カウンセラー業務の実際についても実習する。					
【到達目標】 クライアントへの適切な接し方を体得する。予診の聴取、家系図の作成が適切に可能となる。症例の問題点について、担当医らと討議できる。症例をまとめ、医学的・心理社会的・倫理的問題について文献を検索し、最新情報を入手できる。カンファレンスで、症例を提示し、討論を行うことができる。関連する部局と適切な情報交換、連携が可能であり、チーム医療を実践できる。					
【授業計画と内容】					
【遺伝カウンセリング実習】 1年次の10月から遺伝カウンセリング実習を開始する。学生個人個人の知識・到達度や実習のavailabilityから判断して、実習の頻度を決定する。2年間で60症例程度を経験する。遺伝カウンセリング実習への参加にあたっては、疾患について十分に予習を行い、担当の教員ならびに認定遺伝カウンセラーと事前打ち合わせを綿密に行い、疑問点を解消するとともに、遺伝カウンセリング当日のそれぞれの役割を決めておく。ごく初期は同席のみであるが、できるだけ実際の遺伝カウンセリングに積極的に参加することが望まれる。具体的には情報提供資料の作成、主訴の確認、病歴や家系図の聴取、疾患概要や遺伝形式に関する情報提供、遺伝学的検査の説明、電話フォローアップなど、個々のケースに応じて積極的に参加する。個々のケースについて症例記録・サマリーを作成し、担当の認定遺伝カウンセラーならびに教員に確認の上、できるだけ早く確定し、所定の場所に保存する。また、経験した症例をカンファレンスで発表し、討論する。1ケースあたり、(準備や検索					
----- 遺伝カウンセリング実習1 (GC限定) (2)へ続く -----					

遺伝カウンセリング実習1 (GC限定) (2)

を含めると)かなり多くの時間が必要となる。遺伝性腫瘍、神経変性疾患、出生前診断、染色体異常、遺伝性難聴、遺伝性循環器疾患、眼科疾患、先天奇形、その他、できるだけバラエティに富んだ疾患の症例の経験をするようにつとめる。

・京都大学医学部附属病院：月～金(コース全員で交代)。遺伝子診療部の他、外来がん診療部、小児科

・関西医科大学附属病院：月曜(1名)

・高槻病院：月曜と同一週の水曜(1名)

また、実習期間中の一定の時期(1月～3月を予定)に認定遺伝カウンセラーの業務実習として、実際の電話予約や他診療科連携等の業務に立ち会う。遺伝カウンセリング後の電話フォローアップについては原則として遺伝カウンセラーコース院生が対応し、実質的なOJT(on the job training)、インターンシップを行う。

<症例記録の書き方の注意：抜粋>

1. ファイル名：カルテ番号+短い疾患名+受診日とする(例)999FAP120915

再診のときは、前回のものに追記したものに再診日と回数を記載。(例)999FAP1261013-2

2. 本文のタイトルの前にカルテ番号を入れる。

3. クライアント氏名は記載しないが、診療施設の名称などは全て実名記載する。

4. 時間(終了時間、所要時間)も入れる。

5. 家系図はパワーポイントで、別ファイルに。ファイル名は、上記のワードファイルと同じ。

【学会・研修会への参加】

より幅広い知識・経験を積むため、下記の学会・研修会等への参加は原則として2年間必修または推奨とする(経費はできるだけサポートする)。学会発表、セミナーでの積極的な活動が奨励される。下記以外の学会・セミナーについても遺伝カウンセリングに関係の深いものについては参加を推奨する、また、これらの機会を利用し積極的な人脈作りを行うべきである。また、患者会・サポートグループなどへ積極的に参加することが勧められる。適宜情報を提供する。

【履修要件】

遺伝カウンセラーコース限定必修(事前確定科目)1回生は「遺伝カウンセリング実習1」、2回生は「遺伝カウンセリング実習2」

【成績評価の方法・観点】

実習への積極的な参加などを総合的に評価する。

【教科書】

実際のクライアントに接した経験ほど重要な資源はない。

【参考書等】

(参考書)

実際のクライアントに接した経験ほど重要な資源はない。

遺伝カウンセリング実習1 (GC限定) (3)

[授業外学修(予習・復習)等]

【2024年度の必須参加予定】(変更ある場合はその都度連絡する)

5/31-6/1 日本遺伝性腫瘍学会*(推奨) 仙台

8/2-4 日本遺伝カウンセリング学会* 東京

9/6-7 日本遺伝子診療学会*(推奨) 高崎

(未定) 遺伝医学セミナー WEB

10/10-12 日本人類遺伝学会* 札幌

11/23 全国遺伝子医療部門連絡会議 WEB

(2023年度入学者が2回生になった際の参加学会・研修会は上記と同一ではない。)

経費補助を受けて学会・セミナー等へ参加した場合は、レポートを提出すること。レポートはA4用紙で参加日数枚数分を目安とし、速やかに提出すること(最大1ヶ月以内)。また、これらのレポートについては、報告書として冊子化されることがあることを了解すること。2回生は*のいずれかの学会で一度は研究発表をおこなうことが望ましい。

(その他(オフィスアワー等))

クライアントのいかなる情報についても守秘を徹底すること。遺伝カウンセリング内容についての会話は、部外者のいるところではしないこと、内容を記したノート類は、部外者の目にふれないようにすること。ノートの貸し借りは禁止。守秘できない場合は、退学処分とする。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		P-PUB01 8N010 PJ90			
授業科目名 <英訳>	遺伝カウンセリング実習2 (GC限定) Genetic Counselling, Practice 2	担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 附属病院 医学研究科 医学研究科	特定講師 特定准教授 特定助教 特定助教	川崎 秀徳 小川 昌宣 鳥嶋 雅子 吉田 晶子
配当学年	専門職	単位数	4	開講年度・開講期	2024・通年不定
曜時限	その他	授業形態	実習 (対面授業科目)	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
【基本情報】 授業日時：随時 場所：京都大学医学部附属病院 遺伝子診療部・外来がん診療部・小児科、関西医科大学附属病院 女性診療科・臨床遺伝センター、高槻病院 下記学会・研修会会場など。オンラインでの実習も経験する。 レベル：応用 担当者：川崎秀徳 (科目責任者)、小川昌宣、山崎博司、山田重人、鳥嶋雅子、吉田晶子、村上裕美、本田明夏、源明理、春山瑳依子、佐藤智佳、四本由郁					
【コースの概要】 遺伝カウンセリングの現場に同席し、その現状を体験するとともに、予診の聴取 (プレカウンセリング)、家系図の作成、電話フォローアップなどを実際のクライアントに対して行う。					
【教育・学習方法】 実習 (準備・プレカウンセリング・同席実習・症例記録作成・カンファレンスでの症例報告・討議・電話フォローアップ)。関連学会・セミナーに出席、積極的に参加し、レポートをまとめる。 1月～3月は、「遺伝カウンセラー業務実習」として遺伝カウンセリング電話予約対応などの認定遺伝カウンセラー業務の実際についても実習する。					
【到達目標】 クライアントへの適切な接し方を体得する。予診の聴取、家系図の作成が適切に可能となる。症例の問題点について、担当医らと討議できる。症例をまとめ、医学的・心理社会的・倫理的問題について文献を検索し、最新情報を入手できる。カンファレンスで、症例を提示し、討論を行うことができる。関連する部局と適切な情報交換、連携が可能であり、チーム医療を実践できる。					
【授業計画と内容】					
【遺伝カウンセリング実習】 1年次の10月から遺伝カウンセリング実習を開始する。学生個人個人の知識・到達度や実習のavailabilityから判断して、実習の頻度を決定する。2年間で60症例程度を経験する。遺伝カウンセリング実習への参加にあたっては、疾患について十分に予習を行い、担当の教員ならびに認定遺伝カウンセラーと事前打ち合わせを綿密に行い、疑問点を解消するとともに、遺伝カウンセリング当日のそれぞれの役割を決めておく。ごく初期は同席のみであるが、できるだけ実際の遺伝カウンセリングに積極的に参加することが望まれる。具体的には情報提供資料の作成、主訴の確認、病歴や家系図の聴取、疾患概要や遺伝形式に関する情報提供、遺伝学的検査の説明、電話フォローアップなど、個々のケースに応じて積極的に参加する。個々のケースについて症例記録・サマリーを作成し、担当の認定遺伝カウンセラーならびに教員に確認の上、できるだけ早く確定し、所定の場所に保存する。また、経験した症例をカンファレンスで発表し、討論する。1ケースあたり、(準備や検索					
----- 遺伝カウンセリング実習2 (GC限定) (2)へ続く -----					

遺伝カウンセリング実習2 (GC限定) (2)

を含めると)かなり多くの時間が必要となる。遺伝性腫瘍、神経変性疾患、出生前診断、染色体異常、遺伝性難聴、遺伝性循環器疾患、眼科疾患、先天奇形、その他、できるだけバラエティに富んだ疾患の症例の経験をすることにつとめる。

・京都大学医学部附属病院：月～金（コース全員で交代）。遺伝子診療部の他、外来がん診療部、小児科

・関西医科大学附属病院：月曜（1名）

・高槻病院：月曜と同一週の水曜（1名）

また、実習期間中の一定の時期（1月～3月を予定）に認定遺伝カウンセラーの業務実習として、実際の電話予約や他診療科連携等の業務に立ち会う。遺伝カウンセリング後の電話フォローアップについては原則として遺伝カウンセラーコース院生が対応し、実質的なOJT(on the job training)、インターンシップを行う。

< 症例記録の書き方の注意：抜粋 >

1．ファイル名：カルテ番号＋短い疾患名＋受診日とする（例）999FAP120915

再診のときは、前回のものに追記したものに再診日と回数を記載。（例）999FAP1261013-2

2．本文のタイトルの前にカルテ番号を入れる。

3．クライアント氏名は記載しないが、診療施設の名称などは全て実名記載する。

4．時間（終了時間、所要時間）も入れる。

5．家系図はパワーポイントで、別ファイルに。ファイル名は、上記のワードファイルと同じ。

【学会・研修会への参加】

より幅広い知識・経験を積むため、下記の学会・研修会等への参加は原則として2年間必修または推奨とする（経費はできるだけサポートする）。学会発表、セミナーでの積極的な活動が奨励される。下記以外の学会・セミナーについても遺伝カウンセリングに関係の深いものについては参加を推奨する、また、これらの機会を利用し積極的な人脈作りを行うべきである。また、患者会・サポートグループなどへ積極的に参加することが勧められる。適宜情報を提供する。

【履修要件】

遺伝カウンセラーコース限定必修（事前確定科目）1回生は「遺伝カウンセリング実習1」、2回生は「遺伝カウンセリング実習2」

【成績評価の方法・観点】

実習への積極的な参加などを総合的に評価する。

【教科書】

実際のクライアントに接した経験ほど重要な資源はない。

【参考書等】

（参考書）

実際のクライアントに接した経験ほど重要な資源はない。

遺伝カウンセリング実習2 (GC限定) (3)

[授業外学修(予習・復習)等]

【2024年度の必須参加予定】(変更ある場合はその都度連絡する)

- 5/31-6/1 日本遺伝性腫瘍学会* (推奨) 仙台
8/2-4 日本遺伝カウンセリング学会* 東京
9/6-7 日本遺伝子診療学会* (推奨) 高崎
(未定) 遺伝医学セミナー WEB
10/10-12 日本人類遺伝学会* 札幌
11/23 全国遺伝子医療部門連絡会議 WEB

(2023年度入学者が2回生になった際の参加学会・研修会は上記と同一ではない。)

経費補助を受けて学会・セミナー等へ参加した場合は、レポートを提出すること。レポートはA4用紙で参加日数枚数分を目安とし、速やかに提出すること(最大1ヶ月以内)。また、これらのレポートについては、報告書として冊子化されることがあることを了解すること。2回生は*のいずれかの学会で一度は研究発表をおこなうことが望ましい。

(その他(オフィスアワー等))

クライアントのいかなる情報についても守秘を徹底すること。遺伝カウンセリング内容についての会話は、部外者のいるところではしないこと、内容を記したノート類は、部外者の目にふれないようにすること。ノートの貸し借りは禁止。守秘できない場合は、退学処分とする。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。